

国立大学法人の意欲的な評価指標の再申請の指定について（案）

1. 概況

「意欲的な評価指標」の再申請として、以下の通り24法人から32件の再申請があり、6件を意欲的な評価指標として指定する。

現在の意欲的な評価指標の数	58件
今回再申請のあった意欲的な評価指標の数	32件（24法人）
今回指定後の意欲的な評価指標の数	64件
（参考：全法人の総評価指標数	5,042件）

2. 指定に当たっての基本的な考え方

「意欲的な評価指標」の指定にあたっては、「意欲的な評価指標の指定に係る基本的な考え方について」（令和5年3月23日国立大学法人評価委員会決定）に準拠し、以下に示す観点から、厳格に審査を行っている。

- ・自法人における過去の取組の実績やそれによる成果にとどまらず、機能や規模等の類似する他法人における取組の実績やそれによる成果等と比較した上で、当該評価指標が特に高い達成水準を掲げており、その達成により特筆すべき成果が得られることを具体的に示す。
- ・単に新規性があるだけでなく、他に参考とし得る例のないとりわけ先駆的な取組であることや、社会経済環境の変化に伴う影響等、達成のために対応すべき課題が多数想定されることなどを挙げつつ、当該評価指標に掲げた達成水準への到達が容易ではなく、その達成により特筆すべき成果が得られることを具体的に示す。

※基本的な考え方を踏まえ、客観的に達成水準の高いと判断できるものについて指定をしているため、以下に該当するものは、客観的に達成水準が高いと判断できないとして指定は行わないものとする。

- ・定義や解釈に幅があるもの
- ・目標値が機能や規模等の類似する法人や、過去の実績よりも低いもの
- ・単に取組の成否を測るもの
- ・法人独自のプログラムに関するもの

3. 留意点

「意欲的な評価指標」については、各法人が意欲的・挑戦的な達成水準に取り組むもので、かつ社会に対して客観的に高い水準であることが十分説明されているか判断している。このため、各法人の中期計画に掲げられた取組自体が優れているかを審査しているものではない。

I) 規模や機能等の類似する法人間においてトップを目指すもので過去の実績と比較して高い水準にあるもの

番号	法人名	中期目標区分	中期目標	中期計画	評価指標
30	お茶の水女子大学	I-1 社会との共創	<p>【M1】 我が国の持続的な発展を志向し、目指すべき社会を見据えつつ、創出される膨大な知的資産が有する潜在的可能性を見極め、その価値を社会に対して積極的に発信することで社会からの人的・財政的投資を呼び込み、教育研究を高度化する好循環システムを構築する。</p>	<p>【K3】 持続可能な社会の創成には、社会全体でSDGsの達成を推し進めることが必要であり、そのために行動できる人材の養成が急務であることから、SDGs教育・研究プログラムを企画・実行していくための組織「サステイナブル社会実装機構」を新設する。本機構の「SDGs推進研究所」では、特に食やジェンダーに関するSDGsに向けた社会実装型研究を推進し、民間企業等と協奏するとともに、SDGsネットワーク・ハブとしての機能を持ち、エコシステムを創出しつつ社会変革を駆動する。また、ステークホルダーと新しい価値を共創することで持続可能な社会・レジリエンスの高い社会の実現に貢献しうる好循環システムを構築し、持続的な活動を推進する。「湾岸生物教育研究所」では、SDG14のゴールである「海の豊かさを守ろう」の重要性について啓発するための教育関係共同利用拠点としての取組を継続するとともに、潮間帯から深海までの幅広い環境に生息する動植物の発生、進化、生態、保全にかかわる研究を推進する。</p>	<p>【S3-1】第4期中期目標期間から「THE インパクトランキング」にエントリーし、ランキングのうち、「SDG5 ジェンダー平等を実現しよう」において、第4期中期目標期間最終年度までに100位以内を獲得。</p>
30	お茶の水女子大学	I-3 研究	<p>【M10】 若手、女性、外国人など研究者の多様性を高めることで、知の集積拠点として、持続的に新たな価値を創出し、発展し続けるための基盤を構築する。</p>	<p>【K18】 将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の担い手となる若手研究者に対する支援や研究者のライフスタイルに応じた研究の支援を継続するとともに、女性教員や外国人教員の積極的採用により教育研究活動の活性化につなげる。こうして研究者の多様性を高めること、及び他大学、他機関等との教員のクロスアポイントメントを推進することにより、研究レベルの継続的な向上を目指す。</p>	<p>【S18-1】全教員に占める女性教員の比率を、第4期中期目標期間終了時点で49%以上、教授職については40%以上に設定</p>
43	静岡大学	I-3 研究	<p>(10)地域から地球規模に至る社会課題を解決し、より良い社会の実現に寄与するため、研究により得られた科学的理論や基礎的知見の現実社会での実践に向けた研究開発を進め、社会変革につながるイノベーションの創出を目指す。⑮</p>	<p>【27】 静大発ベンチャー企業の設立推進を通して、数多くの研究成果の社会実装を推進し、革新的なイノベーションの創出を目指す。</p>	<p>【27-1】 第4期中期目標期間中の静大発ベンチャーの設立：30社以上</p>

番号	法人名	中期目標区分	中期目標	中期計画	評価指標
77	熊本大学	I-2 教育	B-5. 国や社会、それを取り巻く国際社会の変化に応じて、求められる人材を育成するため、柔軟かつ機動的に教育プログラムや教育研究組織の改編・整備を推進することにより、需要と供給のマッチングを図る。④	B-5-1. 半導体・デジタル研究教育機構を設置し教育研究機能を強化するとともに、新たに情報融合学環及び工学部半導体デバイス工学課程を設置し、さらに、大学院自然科学教育部の博士前期課程及び博士後期課程に半導体・情報数理専攻（仮称）設置することで、DX時代を牽引する人材、特に半導体分野における人材育成を加速させ、半導体関連企業への輩出人材を増加させる。	(B-5-1-1) 半導体関連企業への輩出人材数／第4期中期目標期間最終年度までに第3期中期目標期間最終年度の人数の2.5倍以上の人材輩出を達成する。
78	大分大学	I-3 研究	(6) 真理の探究、基本原理の解明や新たな発見を目指した基礎研究と個々の研究者の内在的動機に基づいて行われる学術研究の卓越性と多様性を強化する。併せて、時代の変化に依らず、継承・発展すべき学問分野に対して必要な資源を確保する。	【⑭-2】世界に通用する多様性や卓越性を持った研究を戦略的に支援するとともに、それを担う研究者を育成するため、研究マネジメント機構を中核として、海外の研究者との研究交流や共同研究を支援する。また、これまで培ってきた国際連携事業やグローバル感染症研究センターを中核とした新たな国際共同研究を推進し、その研究成果を地域や国際社会へ還元する。	【⑭-2-2】第4期が終了する令和9年度までに、ピロリ菌 (<i>Helicobacter pylori</i>) をキーワードとしてScopusでの論文数及び被引用数の分析をした結果がどちらも国内1位。

Ⅱ) 国内の大学における最初の事例となるもので第三者機関による認定等の一定の水準の高さが担保されているもの

番号	法人名	中期目標区分	中期目標	中期計画	評価指標
93	奈良国立大学機構	I-4 その他教育研究等	【11】学部・研究科等と連携し、実践的な実習・研修の場を提供するとともに、全国あるいは地域における先導的な教育モデルを開発し、その成果を展開することで学校教育の水準の向上を目指す。 (附属学校) ⑱	【11-2】奈良教育大学附属学校園は、以下のことに取り組む。 (2) 附属幼稚園を全国初となる国立の「附属幼保連携型認定こども園」に移行させ、乳幼児の教育・保育を行うことに加え、1) 全国のこども園等のモデルとなる乳幼児期から小学校までを貫くカリキュラム、2) 親性育成を基盤とする子育て支援プログラム、3) 乳児からの育ちを見通せるこども園保育教諭の養成カリキュラムの開発・提供を行う。	【11-2-2_01】全国初となる国立の「附属幼保連携型認定こども園」を設置し、令和6年度から2歳児を、令和8年度から0-1歳児を受け入れる。

Ⅲ) 政府目標に掲げられた目標値を上回るなどの一定の水準の高さが担保されているもの

番号	法人名	中期目標区分	中期目標	中期計画	評価指標
					該当なし